

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	502	科目名	コミュニケーション学事例研究1		サブネーム	マスメディアとコミュニケーション		
共催機関名		レベル	基礎～中級		講義枠	月曜日	講義時間	18:30～20:00
科目概要	自己決定、自己責任が重視される現代社会では、情報公開にかかわるマスメディアに目が集まっている。最近よく聞くリスクをキーワードに、マスメディアの情報伝達(コミュニケーション)に果たす役割を考察する。生活・社会にはどのようなリスクがあり、それらをどう伝えていくかについて考えたい。政府やメディア、科学者、消費者などリスクコミュニケーションに関わる集団の動きなども報告するほか、海外の状況についても取り上げる。							

サブタイトル	No	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属	
メディア概論	1	メディアとは何か	現代社会においてはメディア(マスメディア)をどのようにとらえたらよいか。メディアの果たす役割を含めて考える。	4月17日	共通講義棟 1号館 204教室	中村 雅美	日本経済新聞編集委員	
	2	メディアとリスク	メディアはリスクをどのようにとらえているか。リスクを構成する要素をを考える。	4月24日				
リスク概論	3	リスクとは何か	人々はリスクをどうとらえ、知り、伝えてきたか。	5月1日	共通講義棟 1号館 302教室			
	4	リスクに対する考え方	われわれを取り巻くリスクにはどのようなものがあるか。自然災害から、人為的なもの・こと、化学物質などさまざまなことを解説する。	5月8日				
リスクコミュニケーション	5	リスクコミュニケーションとはなんだろう(1)	リスク報道の現場。リスクはどのように取材され、編集され、伝えられるかを解説する。	5月15日				
	6	リスクコミュニケーションとはなんだろう(2)	リスクコミュニケーションの目標をどこに置くべきか。そのための手段はなにか。また、リスクコミュニケーションにおけるメディア、市民団体、科学者・専門家の役割について解説する。	5月22日				
リスクコミュニケーションの現状	7	政府・公的機関、海外の取り組み	政府・地方自治体の取り組みの事例を見る。また海外のリスクコミュニケーションの実際と先進的な試みを見る。	5月29日				
	8	消費者団体の取り組み / 産業界の考え方と取り組み	消費者団体、市民運動の取り組みの事例を見る。また、産業界はリスクコミュニケーションをどのように考えているか。いくつかの事例を基に考察する。	6月5日				
メディアとリスク	9	報道の事例(1)	新聞やテレビに登場するリスクにはどんなものがあるかについて検証する。	6月12日		共通講義棟 1号館 302教室	小出 重幸	読売新聞編集委員
	10	報道の事例(2)	新聞やテレビはリスクをどのように報道しているか。事例と悩みを紹介し、考察する。	6月19日				
生活とリスク	11	生活とリスク(1)	市民がリスクコミュニケーションに参加するときにはどんな情報が必要なのか、どんな情報提供の方法が有効であるのか、バイオテクノロジー分野を例に考察する	6月26日	佐々 義子		くらしとバイオプラザ21	
	12	生活とリスク(2)	われわれの身の回りにあるリスクを回避する努力がどのように行われているかについて具体的な事例を中心に説明する。どのようなことに留意して情報提供を行うと市民を対象とした有効なリスクコミュニケーションが行われるのかを考察する	7月3日				
	13	コミュニケーションにおけるメディアの使命	リスクコミュニケーションにおけるメディアの使命を検証、考察する。	7月10日	中村 雅美		日本経済新聞編集委員	
演習	14	演習	以上の講義をまとめて、自分が新聞やテレビの編集者になったらどうするかを考えてみる。	7月24日				
まとめ	15	まとめ	マスメディアとリスク報道の関わりをまとめる。	7月31日				